学校番号	１１５

平成３１年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年	３年
類型等	文型（選択）、文理型（選択）						
使用教科書	「高等学校　新倫理（新訂版）」　（清水書院）						
副教材等	「テオーリア　最新倫理資料集」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分はどんな人間なのか？自分はどう生きていくのか？人間とは何か？世界とは何か？…こうした人類が何千年も問い続けてきたけれども、正解がみつからない問題を考えていく科目です。自分だけで考えても答えはでてきません。世界の主な宗教や過去も思想家たちが考えてきたことを学び、いっしょに考えていきましょう。

２　学習の到達目標

・青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに，人格の形成に努める実践的意欲を高め，生きる主体としての自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
・先人たちの思想や世界の主な宗教について基本的なことを学び、人間とは何か、世界とは何か、自らどう生きていくのかといったことについて考える。
・現代の倫理的課題（生命・環境・情報・国際平和など）について関心をもつ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を持ち，人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を高めている。 ・倫理的な諸課題についての探究的な態度を身につけ，人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。	・他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し，人間の存在や価値，現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ・良識ある公民としての広い視野に立つことで，主体的かつ公正な判断をしている。 ・課題についての考察や判断の過程や結果を，さまざまな方法で論理的に表現している。	・自己形成や人間としての在り方生き方，現代の倫理的課題に関して，新聞やテレビ，インターネットなどを通じて，さまざまな資料を収集，整理し，情報を主体的に選択している。 ・さまざまな資料を自己形成のために活用し，追究した内容などを適切に表現している。	・青年期における自己形成や人間としての在り方生き方，先人たちの思想・世界の主な宗教、現代の倫理的課題などに関した基本的な事柄を他者と共に生きる自己の確立の課題として理解している。 ・自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身に付けている。
評価方法	・授業への参加態度，授業での簡単な感想文 ・長期休業中の課題	・授業中の発言・授業での簡単な感想文 ・長期休業中の課題	・長期休業中の課題	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点	単元（題材）の評価規準	評価方法

			a	b	c	d		
1学期	青年期の課題と自己形成	①青年期の意義 ②青年期の課題	○	○		○	a:青年期の意義と課題について関心を高め、自己の生き方について考えようとしている。 b:青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、自己形成・自己の生き方について主体的に考察している。 d:青年期の意義と課題に関わる基礎的な事項を自己確立のかだいとつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身につけてういる。	・授業態度 ・ノート等の提出 ・１学期中間考査
1学期・夏休	人間としての自覚	①ギリシアの思想 ②キリスト教 ③イスラーム ④仏教 ⑤中国思想	○	○		○	a:先人たちの様々な思想、宗教の人生における意義に対する関心を高め、意欲的に探究し、人	・授業態度 ・ノート等の提出 ・１学期期末考査 ・夏休みのレポートの提出

み	現代に生きる人間の倫理	①人間の尊厳 ②科学・技術 ③民主社会と自由の実現と人間 ④社会と個人 ⑤人間への新たな問い ⑥社会参加と幸福	○	○	○	○	間としての在り方生き方について考えようとしている。 b:ギリシア思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国思想などの考え方を手掛かりとして、人間としての在り方・生き方について多面的・多角的に考察し、主体的に人生における宗教・哲学のもつ意義について主体的に判断している。 C:夏休み等を利用して世界の主な宗教について、図書館、美術館、博物館などで資料を探索し、学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択して活用している。また、課題を追究し考察した過程や結果を、レポートにまとめ、適切に表現している。 d:ギリシア思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国思想などの基本的な考え方について、自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	

2学期	日本人としての自覚	①古代日本人の思想 ②日本の仏教思想 ③近世の本の思想 ④西洋思想の受容と展開	○	○		○	a:日本の風土や古代からの現代までの思想・宗教に対する関心を高め、日本人の人間観、自然観、宗教観などの特質について意欲的に探究し、日本人としての在り方生き方について考えようとしている。 b:学習を通じて、日本人の人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察し、国際社会での日本人としての在り方生き方について探究するとともに、広い視野に立って主体的かつ判断している。 d:日本の風土や伝統、仏教や儒教、西洋思想などの外来思想の受容と吸収に関して、日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質を、生きる主体としての自己確立の課題と結び付けて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	・授業態度 ・ノート等の提出 ・２学期中間考査

2 学 期	現代の諸課題と倫理	①生命倫理 ②環境の倫理 ③家族の倫理 ④地域社会の課題 ⑤高度情報化社会の課題	○	○		○	a:現代の諸事象における倫理的課題について、自己の課題とつなげて意欲的に追究している。 b:自然と人間とのかかわり(生命倫理、環境倫理)、社会生活と自己とのかかわり(家族・社会、情報化)などの視点から、現代の倫理的諸課題を、自己の課題とつなげて多面的・多角的に考察し、現代に生きる人間としての自己の在り方生き方について広い視野に立って主体的に判断している。 d:今日の生命倫理または環境倫理の問題について、家族や地域社会の在り方または情報社会の在り方について、自己の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	・授業態度 ・ノート等の提出 ・２学期期末考査

3学期	国際平和と人類の福祉の課題	・各国間の経済格差の解消 ・難民や女性・子どもの人権保障 ・核兵器の廃絶など 人類全体の福祉実現に向けた取組みを調べ，地球市民としての生き方	○	○		○	a:国際平和や人類の福祉の課題について、 現代に生きる人間としての在り方生き方として考え、倫理的諸課題に進んで取り組もうとしている。 b: 国際社会と自己とのかかわり（異文化理解、国際平和）などの視点から、現代の倫理的諸課題を、自己の課題とつなげて多面的・多角的に考察し、現代に生きる人間としての自己の在り方生き方について広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。 d:国際平和について、現代に生きる人間としての在り方生き方にかかわる課題としてを、自己の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	・授業態度 ・ノート等の提出 ・学年末考査

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。